

施策番号	2001		
施策名	世界トップレベルの使いやすさをめざした公共交通の再編強化		
概要	市内で運行する交通事業者等の連携によるネットワークを構築し、さらなる鉄道、バスの利便性向上策などを実施するとともに、バリアフリー化の推進、公共交通不便地域や観光シーズンにおける交通対策の強化などを実施する。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	27年度	28年度	29年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 バリアフリー整備が完了した駅数(駅)	-	-	-	33	33	100.0%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度	28年度	29年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 京都での移動には、公共交通が便利である。	b	b	131 26.3%	195 39.1%	96 19.2%	43 8.6%	34 6.8%	499	b
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
	b	b	市民生活実感調査総合評価					b	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) この施策は、市民生活における公共交通に対する満足感を高めることが目的であるので、市民生活実感評価を重視する。						28年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						27年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助	68,319	117,000	良い	都市計画局
2	地方バス路線維持に係る補助金	8,269	7,811	悪い	都市計画局
3	京北ふるさとバスの運行補助	36,336	56,388	良い	都市計画局
4	リニア・北陸新幹線の誘致推進	27,634	28,400	普通	総合企画局
5	京都未来交通イノベーション研究機構の運営	12,550	14,702	良い	都市計画局
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・バリアフリー化を推進し、公共交通の利用を促進するため、平成29年度は新たに西大路駅（JR西日本）のバリアフリー化整備に着手する。
 ・また、交通事業者等と連携し、公共交通の利便性を向上させる施策や、ネットワークの構築等を実施し、京都に住まい、また京都を訪れる全ての人が安心・安全、快適・便利に利用できる公共交通を構築する。

施策名	2001	世界トップレベルの使いやすさをめざした公共交通の再編強化
-----	------	------------------------------

指標名	バリアフリー整備が完了した駅数（駅）
-----	--------------------

担当課	歩くまち京都推進室	連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3
-----	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

平成14年10月に策定した「京都市交通バリアフリー全体構想」及び平成24年3月に策定した「「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」で選定した重点整備地区内の36駅のうち、「移動等円滑化基本構想」に基づくバリアフリー化整備が完了した駅数

2 指標の意味

すべての人にやさしい駅として、バリアフリー化される施設整備の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	-	33	-	33	平成32年度の目標達成のために当該年度に達成すべき数値	100.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	36	32年度	91.7%	重点整備地区内の駅(36)のうち、バリアフリー化整備が完了した駅の割合	

備考	中長期目標を早期達成したため、新たな目標値等に変更した。
----	------------------------------

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a : 100%以上
b : 75%以上100%未満
c : 50%以上75%未満
d : 25%以上50%未満
e : 25%未満

6 基準説明

単年度目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下25%単位で基準設定した。

7 評価結果

26	27	28
-	-	a